



社会の変化と神戸医師協の将来に向けて

理事 村上 啓治

この一年間の国内外における政治、経済の動向は、戦後における最大の変化として、後年記録されることと思われまます。覇権国家としての米国は、冷戦の終結

によりその強大な軍事力保持の目的性を失い、また中国やインド等の台頭による世界の多極化により今後一大国として存在して行くこととなります。一方わが国においては、55年体制による自民党政治は、その目的としての、反共および経済重視主義（配当としての富の国民への再配分）を党是として半世紀存在し、国民の多数は政治を負託してきましたが、共産国家の崩壊や、経済成長の終焉は、党としての目標、目的、正当性を失い、また長年にわたる政権維持の結果としての行政機能の低下とあいまって、座を民主党に譲ることとなりました。一方、米国の、度を過ぎた過剰消費や、目的のためには手段を選ばない一部の金融人の行動による金融崩壊は、当然の結果として米国の力を削ぐこととなりますが、長期的には世界にとって大きな問題とはならないでしょう。グリーンスパン氏の言である「100年に一度の経済危機」なる発言が広く使われていますが、自分たちの所作をあたかも天災のように言う言い逃れにすぎず、自覚に欠けるものと言わざるを得ません。

以上のように考えますと、国も政治も経済も、いずれも目的性を失った時にその終焉を迎えるという（それは新たな胎動の始まりでもありますが）当然な帰結となることを示しています。

さてこの様な反省に立ち考えますと、われわれの神戸医師協同組合も、常にその設立の目的に思いを致すとともに、必要に応じて、今後に向けた新たな目標、目的を打ち立てつつ邁進する必要があるものと考えられます。

何よりも組合員のニーズを的確に捉え、組合員の意見を反映するべく、薬品部担当、医協ニュース編集担当理事として活動し、医師協の健全な発展のために微力ながら努めてまいりたいと考えておりますので、今までも増して宜しくご支援ご教示のほどをお願い申し上げます。

紙上フォト・ギャラリー

EXPO'70

太陽の塔は何回見ても飽きません。ライトアップイベントの時の写真ですが、また昼間と違った表情でした。

撮影／神本 博勝（神戸市東灘区）

<http://www.kami-moto.com/>

